

記者発表(発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 (担当課名)	TEL	発表者名 (担当)	その他 配布先
3／23 (月)	西播磨県民局県民交流室 (地域づくり課)	0791-58-2365	元気づくり参事 西村 拓也 (室長補佐 常陰 朗雄)	—

「利神城 想像復原図」の道の駅「宿場町ひらふく」等での展示開始

西播磨県民局では、管内に130以上ある山城をはじめとする史跡や歴史遺産を、西播磨らしい多彩な地域資源として位置づけ、各種イベントやパンフレット、山城に関するラジオ放送等によってPRし、西播磨地域への誘客を図っています。令和2年度からは「2030年の展望」に描く姿の実現に向けたリーディングプロジェクトとして、更に本格的に「西播磨山城復活プロジェクト」に取り組むこととしています。

このたび、同プロジェクトの趣旨に賛同いただいた中世城郭研究家 ^{きうちただのり}木内内則氏により、西播磨の山城として知名度が高く、「雲突城」の別名のある国指定史跡「利神城」(佐用町)の想像復原図が完成しました。来訪者に広くご覧頂くため、その複製を利神城の麓に所在の道の駅「宿場町ひらふく」、佐用町役場、西播磨県民局内に展示いたします。

つきましては、下記の日程により道の駅「宿場町ひらふく」での展示を開始しますので、当日の取材についてよろしくお願ひします。

[展示の開始]

1 日 時 令和2年3月27日(金) 15:00～ (展示期間は令和3年3月末日までを予定)

(作者 木内内則氏の同席は同日 15:00～16:00 を予定)

2 会 場 道の駅「宿場町ひらふく」(佐用郡佐用町平福 988-1) 内

(佐用町役場、西播磨県民局 展示場所は調整中)

3 展示絵画 題名：利神城想像復原図 (別紙参照)

原画サイズ 748mm×948mm 水彩画、複製 B1サイズ (728mm×1030mm)

作者：中世城郭研究家 ^{きうちただのり}木内内則氏 (神戸市在住)

本職の額装業の傍ら、約50年にわたり播磨地域を中心にこれまで300以上の山城をメジャーで測量し縄張り図(城郭平面図)を作成。うち25以上の山城について水彩による復原図を作成。これまでの復原図は兵庫県立歴史博物館、たつの市立埋蔵文化センター等で展示実績あり。

※利神城(標高373m)

南北朝期に、赤松一族の別所敦範が利神山に山城を築いたのは貞和5年(1349年)。以来、赤松一族の拠点として約二百年を経て、慶長5年(1600年)関が原の戦のあと、池田輝政の甥、池田由之(よしゆき)が平福領23,300石の領主となり、由之は利神山上に5年の歳月をかけて広大な城郭を造営。利神山上の三層の楼閣は、雲を衝くがごとき威容から「雲突城(くもつきじょう)」と呼ばれた。現在は危険個所多いため入山禁止中。

なお、今回の復原図は、最終的に完成した利神城を想定して作画したものです。

4 取材案内 当日は会場に作者の木内内則氏を招き、復原図との記念撮影を実施

[取材される場合のお願い]

1 当日は木内内則氏へのインタビュー取材についても了解を得ています。

2 事前の連絡先 0791-58-2144 (西播磨県民局県民交流室地域づくり課)

当日の連絡先 050-5236-1762 (担当 常陰(つねかげ))

